![ONKYO]

ONKYO®

インテグレーテッドステレオアンプ

A-1VL

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

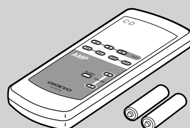
主な特長

■ オンキヨー独自開発のデジタルアンプ技術、「VL digital（デジタル）」を搭載したステレオデジタルアンプ
■ 他のアンプと接続し、パワーアンプとしても使えるDIRECT（ダイレクト）機能
■ システム拡張に対応したプリアウト端子
■ L/Rチャンネルそれぞれにトロイダルトランスを使用、L/Rの電源を分離することで相互の干渉を防ぎ、さらなる音質向上
■ ハイグレードスピーカーターミナル採用
■ インレットタイプの電源コード

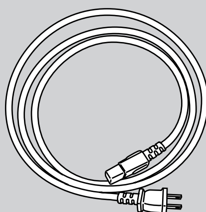
付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

●リモコン(RC-573A)...... (1)
●乾電池(単三形、R6) .... (2)



●電源コード .... （1）

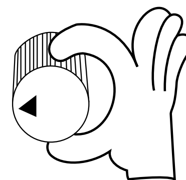


●取扱説明書 .... （本書1）
●保証書 .... （1）
●オンキヨーご相談窓口・
修理窓口のご案内 .... （1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



目次

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

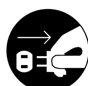

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

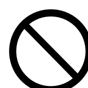
●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない


分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない



●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

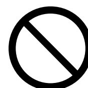


●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない


水場での
使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ
禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



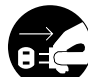
●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



●本機の通風孔などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら



電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

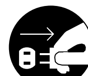
■ 電源コードを傷つけたり、加工しない




●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない


接触
禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

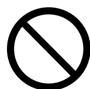


●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

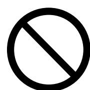
⚠注意

■ 設置上の注意



●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない



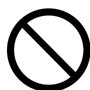
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



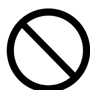
●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

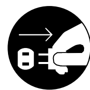


●電源を入れたときは音量（ボリューム）に注意してください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意



●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



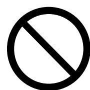
電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

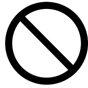


●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



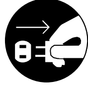
●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて



●スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

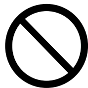


●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。



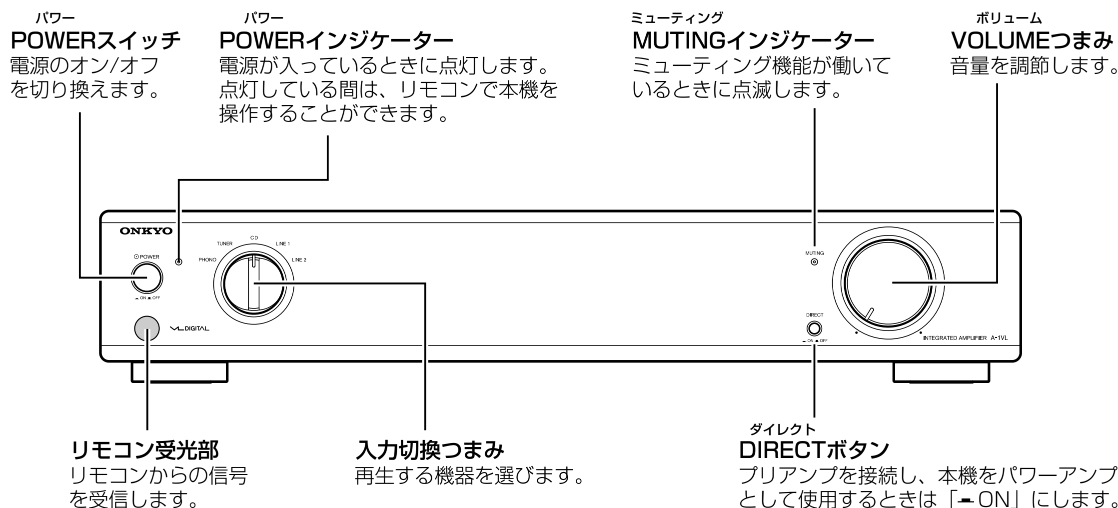
●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。



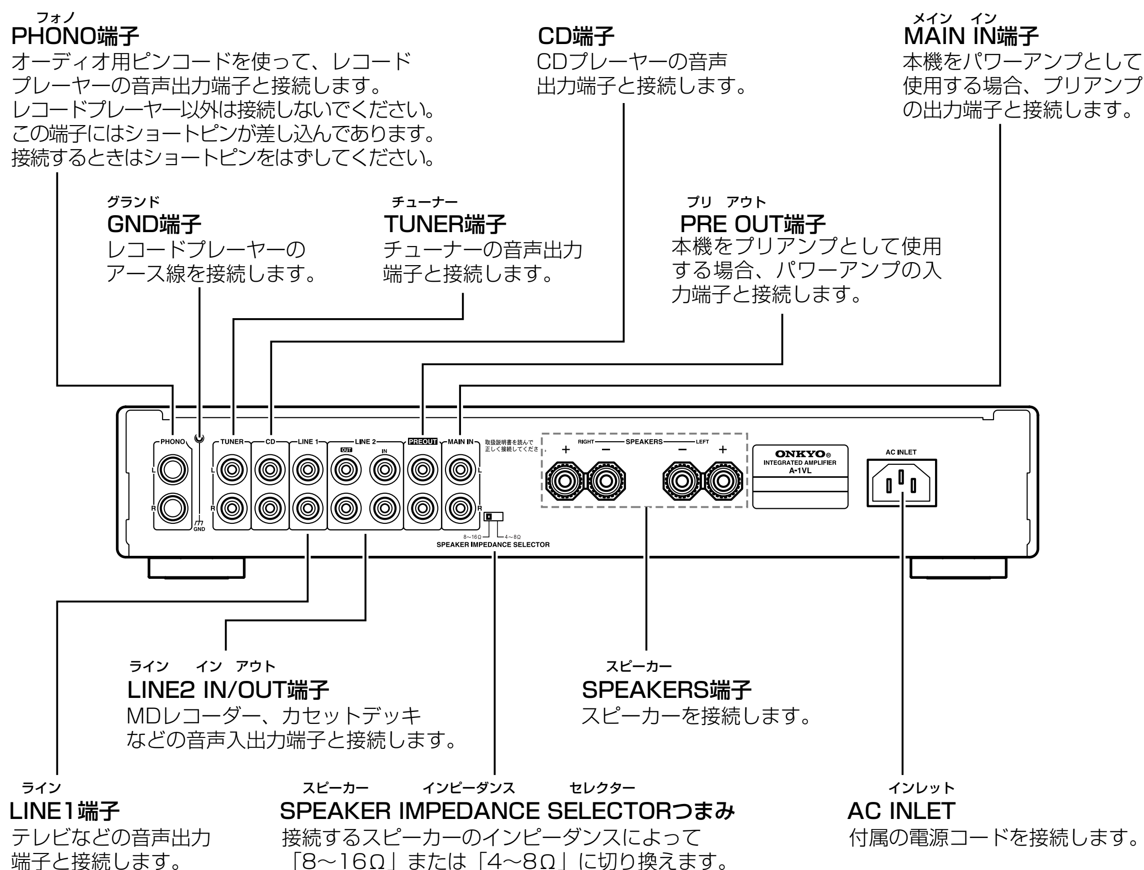
●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル



後面パネル



A-1VL(08-10)(SN29343550A) 8 04.7.21, 11:46 AM

リモコン（RC-573A）

CD部操作ボタン

C-1VLなどリモコン受光部のついたオンキヨー製CDプレーヤーを操作できます。CDプレーヤーを操作するときは、リモコンをCDプレーヤーのリモコン受光部に向けてください。

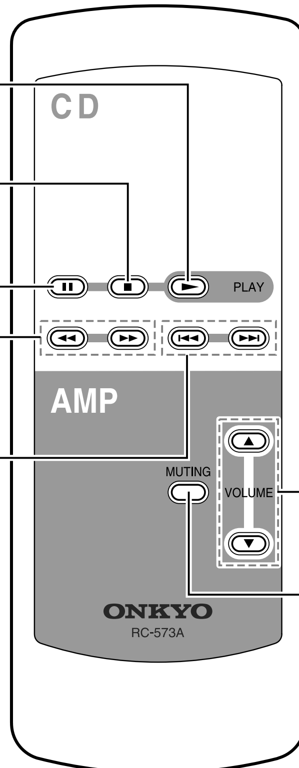
▶PLAY（プレイ）ボタン
ディスクを再生をします。

■（ストップ）ボタン
再生を停止します。

‖（ポーズ）ボタン
再生を一時停止します。

◀◀/▶▶ボタン
早戻し、早送りをします。

|◀◀/▶▶|ボタン
トラックの頭出しをします。



アンプ部操作ボタン

本機の電源が入っているときに本機を操作します。リモコンを本機のリモコン受光部に向けてください。

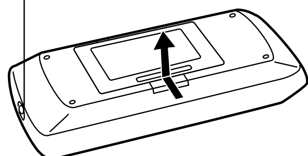
VOLUME（ボリューム）▲、▼ ボタン
音量を調節します。

MUTING（ミューティング）ボタン
音を一時的に小さくします。

リモコンを準備する

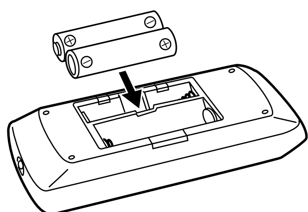
乾電池を入れる

❶



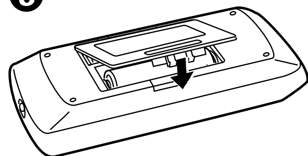
カバーを矢印の方向に持ち上げてはずす。

❷



中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を⊕(プラス)と⊖(マイナス)を間違えないように入れる。

❸



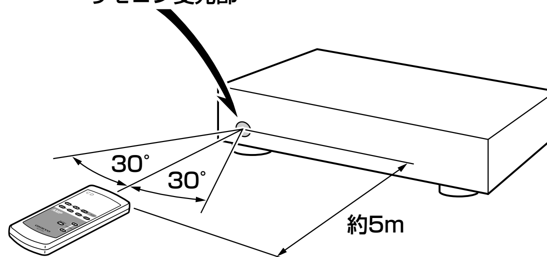
カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

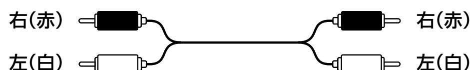
接続をする

接続の前に

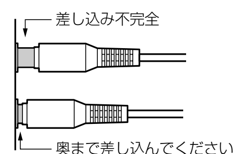
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（Rの表示）を右チャンネル、白いプラグ（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。



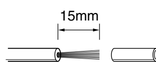
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

スピーカーを接続する

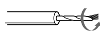
スピーカーの接続

右側に設置するスピーカーは本機のスピーカー端子の「R」に、左側に設置するスピーカーは「L」に接続します。
スピーカーのプラス⊕と本機のスピーカー端子のプラス⊕、スピーカーのマイナス⊖と本機のスピーカー端子のマイナス⊖をそれぞれ接続します。

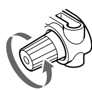
①スピーカーコードの被覆を15mmカットする



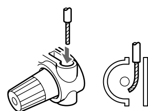
②しん線の先端をしっかりとよじる



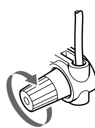
③ねじをゆるめる

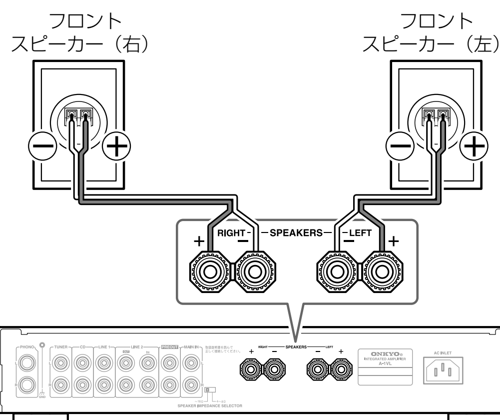


④しん線を差し込む



⑤ねじを締め付ける

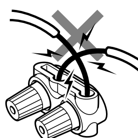




ご注意

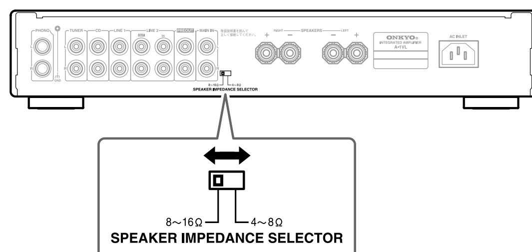
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続すると音声が不自然になりますのでご注意ください。
- 4Ω以下のスピーカーは接続しないでください。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。

危険
回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスを絶対に接触させないでください。



インピーダンスを切り換える

本機は負荷に応じた周波数特性に合わせるため、接続するスピーカーによってインピーダンスを「8～16Ω」または「4～8Ω」に切り換えることができます。8Ω以上のスピーカーを接続する場合は、SPEAKER（スピーカー） IMPEDANCE（インピーダンス） SELECTOR（セレクター）つまみを「8～16Ω」に切り換えることをおすすめします。

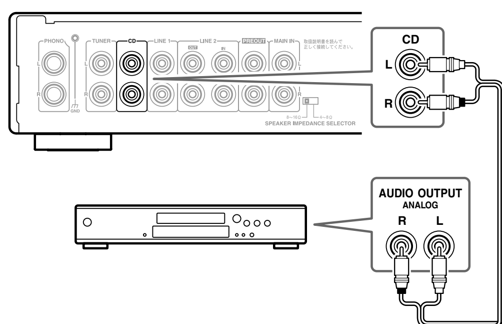


接続をする

オーディオ機器を接続する

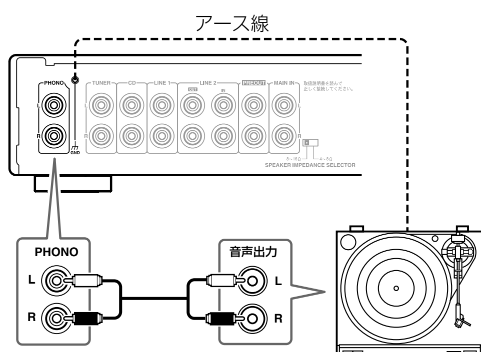
CDプレーヤーの接続（CD端子）

CDプレーヤーの音声出力端子と本機のCD L/R端子を接続します。



レコードプレーヤーの接続（PHONO端子）

本機はムービングマグネット（MM）カートリッジを使用するレコードプレーヤー用に設計されています。
レコードプレーヤーの接続コードを本機のPHONO L/R端子に接続します。PHONO端子にはショートピンが差し込んであります。ショートピンをはずしてから接続してください。



ご注意

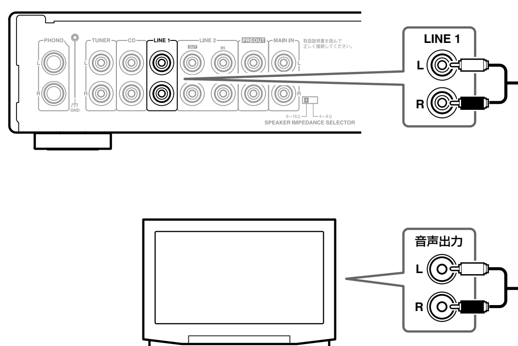
アース（接地）線のあるレコードプレーヤーは、アース線を本機のGND端子に接続してください。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆にノイズが大きくなることがあります。その場合は、アース線を接続する必要はありません。

！ヒント

MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをご使用になる場合は、レコードプレーヤーに昇圧トランスまたはヘッドアンプを接続します。
次に、昇圧トランスやヘッドアンプの音声出力端子と本機のPHONO L/R端子を接続します。

テレビなど再生機器の接続（LINE 1端子）

接続する機器の音声出力端子と本機のLINE 1 L/R端子を接続します。

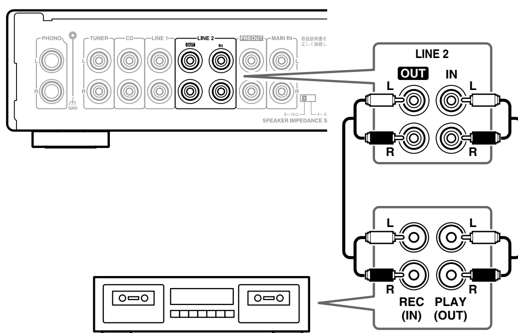


！ヒント

テレビに音声出力端子がない場合は、ビデオデッキの音声出力端子を本機と接続すると、ビデオデッキに内蔵されたテレビチューナーでテレビの音をお楽しみいただけます。

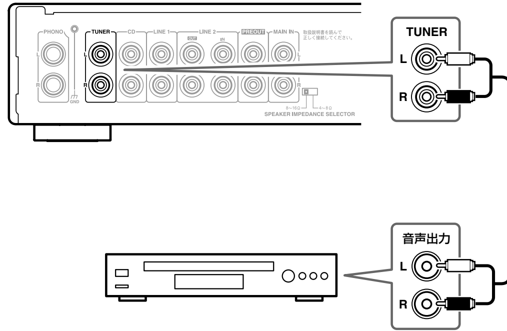
MDレコーダーまたはテープデッキの接続（LINE 2端子）

MDレコーダーまたはテープデッキの音声出力端子（PLAY）と本機のLINE 2 IN L/R端子を接続します。
MDレコーダーまたはテープデッキの音声入力端子（REC）と本機のLINE 2 OUT L/R端子を接続します。



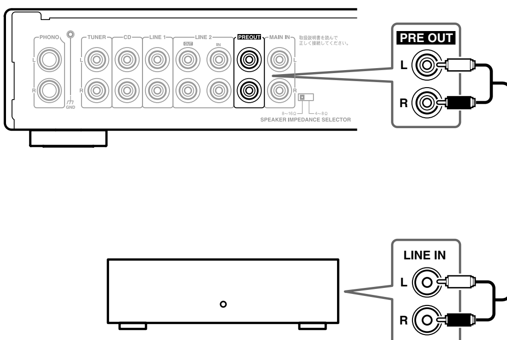
チューナーの接続（TUNER端子）

チューナーの音声出力端子と本機のTUNER L/R端子を接続します。



パワーアンプの接続（PRE OUT端子）

パワーアンプを接続して本機をプリアンプとして使用することができます。
パワーアンプの入力端子と本機のPRE OUT L/R端子を接続します。

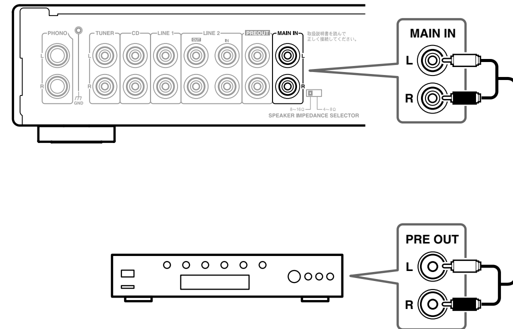


！ヒント

DIRECTボタンの「ON」、「OFF」に関係なく出力されます。

プリアンプの接続（MAIN IN端子）

プリアンプと接続すると本機をパワーアンプとして使用することができます。プリアンプのPRE出力端子と本機のMAIN IN L/R端子を接続します。



ご注意

本機をパワーアンプとして使用する場合は、前面パネルのDIRECTボタンを「ON」にする必要があります。（☞15ページ）

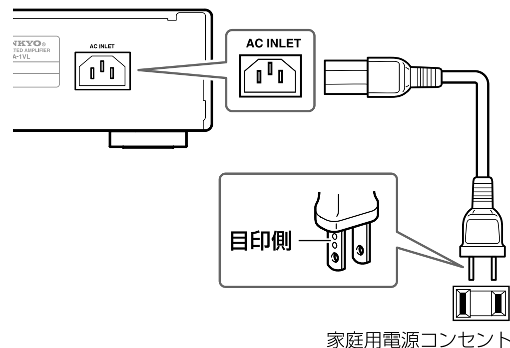
電源コードを接続する

電源コードを接続する前に

すべての接続が完了していることを確認してください。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、この電源コードは本機専用です。
家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態でAC INLETから電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
本機の電源を入れると，瞬間的に大きな電流が流れてコンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

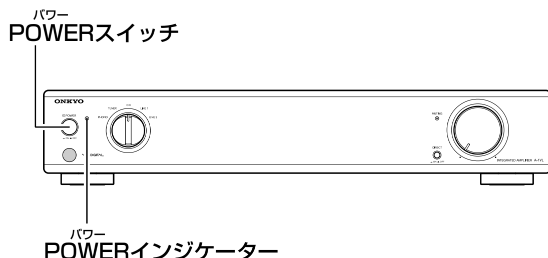
よりよい音で聞いていただくために

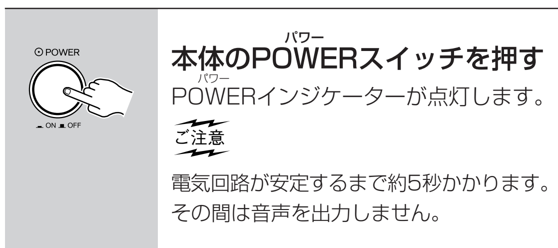
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。



音楽を鑑賞する

電源を入れる





本体のPOWERスイッチを押す

POWERインジケーターが点灯します。

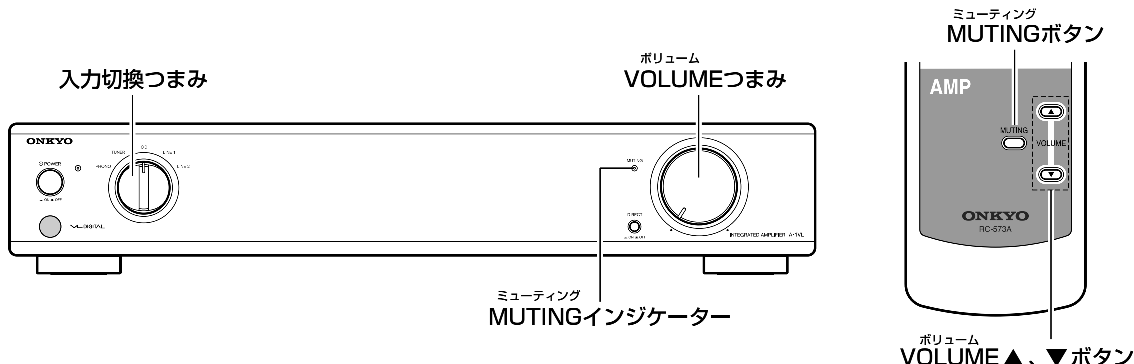
ご注意

電気回路が安定するまで約5秒かかります。
その間は音声を出力しません。

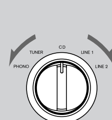
音質に関して

- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。
- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。また、電源を入れた後、10〜30分程度経過した方が音質は安定します。また、振動を受けやすい場所は避けて設置してください。

接続した機器を再生する



1



再生する機器を選ぶ

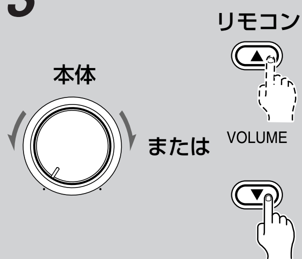
入力切換つまみを回して、再生する機器を選びます。

CD	：CD端子に接続した機器を再生します。
TUNER	：TUNER端子に接続した機器を再生します。
LINE 1	：LINE 1端子に接続した機器を再生します。
LINE 2	：LINE 2端子に接続した機器を再生します。
PHONO	：PHONO端子に接続した機器を再生します。

2

選んだ機器の再生を始める

3



音量を調節する

本体のVOLUMEつまみ、またはリモコンのVOLUME▲/▼ボタンで音量を調節します。

一時的に音量を小さくする



リモコンのMUTINGボタンを押す

MUTINGインジケーターが点滅します。

解除するには

もう一度MUTINGボタンを押します。

- リモコンで音量を変えたり、本体のPOWERスイッチを押した場合にも解除されます。

DIRECT（ダイレクト）機能を使う

プリアンプを接続し、本機をパワーアンプとして使用することができます。

DIRECT（ダイレクト）ボタンを押す

ON（オン）：プリアンプを接続した場合、本機をパワーアンプとして使用することができます。プリアンプの入力端子に接続した機器の音声を出力します。

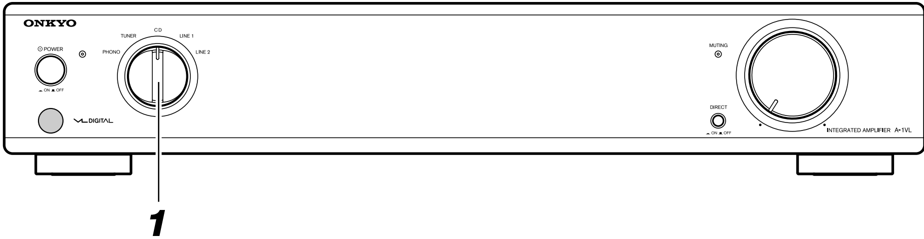
OFF（オフ）：本機のMAIN（メイン） IN（イン）以外の入力端子に接続した機器の音声を出力します。

ご注意

- DIRECT機能を「ON（オン）」にしているとき、本機はパワーアンプとして働きます。本機のVOLUME（ボリューム）つまみや入力切換つまみを回しても効果はありません。DIRECT機能を「OFF（オフ）」にしたとき入力切換つまみで選んだ機器の音が出ますので、特にVOLUMEつまみの位置にご注意ください。
- DIRECT機能が「ON」になっていても、入力切換つまみで選んだ機器の音がPRE（プリ） OUT（アウト）端子から出力されます。

録音する

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。



1 録音する機器を選ぶ

入力切換つまみを回して、録音する機器（再生側）を選びます。

- LINE（ライン） 2に接続した機器は、録音できません。

2 録音する機器（録音側）の準備をする

録音する機器を録音待機状態にします。

- 録音レベルの調整は、録音機器で行ってください。
- 録音のしかたについては、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 録音を始める

手順**1** で選んだ再生機器を再生します。

ご注意

録音中に入力を切り換えないでください。切り換えた入力の音が録音されます。

A-1VL(11-E<20>)(SN29343550A) 15 04.7.21, 11:47 AM

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
●文章の最後にある数字は参照ページです。

電源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔13〕
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が切れ、POWERインジケーターが白色に点滅している

- 保護回路が働いている可能性があります。電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはオンキヨーサービスセンターにご連絡ください。

音声

音声が出力されない

- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。〔11〕
- 接続した機器の入力端子/出力端子に間違いがないか確認してください。
- スピーカーコードの+/−は正しく接続されているか、スピーカーコードのしん線部が本機のスピーカー端子の金属部に確実に固定されているか確認してください。〔11〕
- 入力が正しく選択されているか確認してください。〔14〕
- ミューティングインジケーターが点滅している場合は、リモコンのMUTING（ミューティング）ボタンを押して解除してください。〔14〕
- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。〔12〕
- ケーブルが折れ曲がったり、損傷していないか確認してください。
- 本機をパワーアンプとして使用しているとき（DIRECT（ダイレクト）機能がON（オン）になっているとき）は、プリアンプに接続した機器の音声が出力されます。本機をプリアンプとして使用するときや、本機に接続した機器の音声を出力するには、DIRECT機能をOFFにしてください。〔15〕

ノイズが出る

- オーディオ用ピンコードと電源コードなどを束ねると音質が劣化しますので避けてください。
- 接続コードが他機器の影響を受けている可能性があります。接続コードの位置を変えてみてください。

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池の極性（+/−）が正しく入っているか確認してください。〔10〕
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。〔10〕
- リモコンと本体の間が離れすぎていないか、リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がないかを確認してください。〔10〕
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光）が当たっていると、リモコン操作ができない場合があります。〔10〕
- オーディオラックのドアに色付きガラスが使用されていると、正常に機能しない場合があります。〔10〕

録音

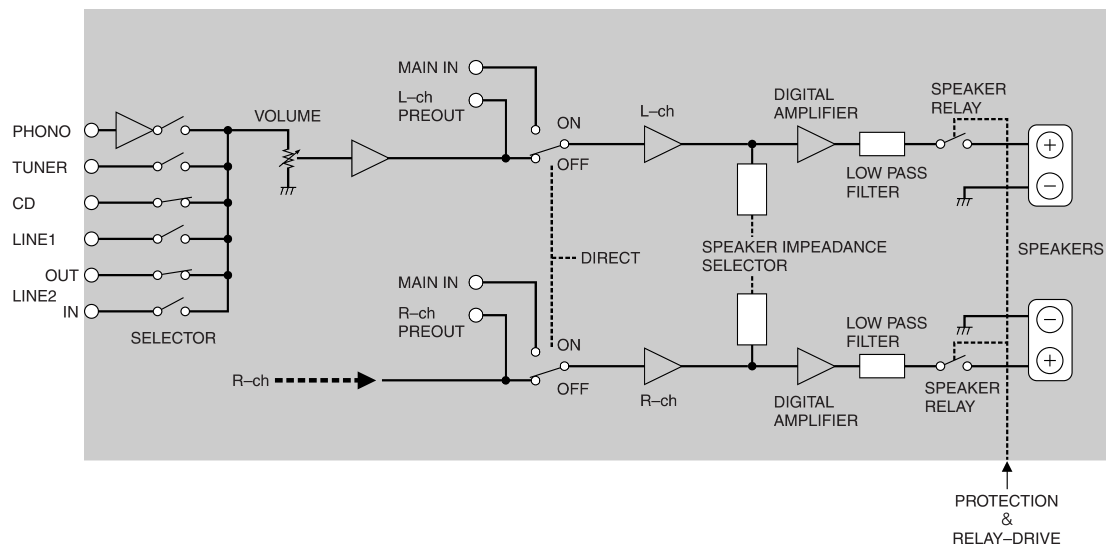
録音ができない

- 録音機器側でデジタルやアナログなどの入力切換が正しくできているか確認してください。本機はデジタル入力端子を装備していないため、アナログ接続による録音になります。
- MAIN（メイン） IN（イン）端子に接続した機器は録音できません。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

ブロック図



MAIN IN
L–ch
PREOUT
ON
OFF
L–ch
DIGITAL
AMPLIFIER
SPEAKER
RELAY
PHONO
TUNER
CD
LINE1
OUT
LINE2
IN
VOLUME
SELECTOR
LOW PASS
FILTER
DIRECT
SPEAKER IMPEADANCE
SELECTOR
SPEAKERS
MAIN IN
R–ch
PREOUT
ON
OFF
R–ch
R–ch
LOW PASS
FILTER
SPEAKER
RELAY
DIGITAL
AMPLIFIER
PROTECTION
&
RELAY–DRIVE

主な仕様

電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	195W
最大外形寸法	435（幅）×81.5（高さ）×390（奥行）mm
質量	11.3kg
音声入力 アナログ	PHONO、TUNER、CD、LINE 1、LINE 2、 MAIN IN
音声出力 アナログ	LINE 2
プリアウト	1（L/R）
スピーカー	1（L/R）
定格出力 フロント	100W＋100W（8Ω、20Hz～20kHz、 全高周波歪率2%以下、2ch駆動時）
実用最大出力 フロント	200W＋200W（4Ω JEITA）
全高調波歪率	2%（1kHz定格出力時）
	2%（40Hz～20kHz定格出力時）
ダンピングファクター	25（フロント、8Ω）
入力感度/インピーダンス	200mV/50kΩ（LINE）
	2.5mV/50kΩ（PHONO MM）
出力電圧/インピーダンス	200mV/2.2kΩ（REC OUT）
PHONO最大許容入力	130mV（MM, 1kHz 0.5%）
周波数特性	10Hz～60kHz/＋1dB −3dB（CD）
SN比	100dB（CD、IHF-A）
	70dB（PHONO IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス	4Ω～16Ω

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　A-1VL
▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

A-1VL(11-E<20>)(SN29343550A)　19　04.7.21, 11:47 AM

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
G0408-2

SN 29343550A

